

2017年 マレーシアプログラム 体験記 (2名)



文化構想学部 1年 藤田あかね

私は高校一年生の時にオーストラリアへの留学を経験しており、その時に体感した異文化を知ることの楽しさにもう一度触れたいという思いから、このプログラムに参加することを迷わず決めました。マレーシアでの1週間は非常にあっという間のものでしたが、たくさんの町や村を巡る中で日本との文化や環境の違いに驚き、またバディーをはじめとするマレーシアの人たちの優しさに幾度となく触れることができました。そして何よりも、留学した者にしか感じ得ないその国を好きになるという感覚を味わうことができたので、このマレーシア留学に参加しようと思った自分の選択は正しいものであったなと、今、自信を持って言うことができます。また同時に、もっと英語を話せるようになりたい、もっと色々な人と話し、色々な景色を見てみたいという思いがこのプログラムを通じてより一層募りました。早稲田大学において学部の壁を超えたかけがえない仲間を作るため、そして、自分の視野を広げて、物事を国際的な視点で捉え考えられる人になるための第一歩として、マレーシアへの留学は非常に有意義で素晴らしいものでした。



商学部 1 年 山室 陽

「大航海時代に交易の発展したマラッカ海峡に訪れたい。そして商学への理解を深める。」
私が留学の志願理由書に書いた理由です。しかし実際は、一度くらい海外に行ってみたい！そんな軽い気持ちからこのプログラムに参加しました。

そんな理由で参加したこの留学は、非常に有意義なものでした。ここではマレーシアの多民族・多宗教観に焦点を当てて書きたいと思います。まず、マレーシアはマレー系や中華系など様々な民族がいます。同様に、イスラム教・仏教・ヒンドゥー教など様々な宗教が信仰されています。留学では実際にモスクや寺院を訪れることで、多様な価値観・独特な文化を自分の肌で感じ取ることができます。これは、日本に閉じこもっているのでは決して感じ取れないものです。

私はこの留学を通して、海外への興味を持つようになりました。今度は中国に留学し、アジアのビジネスを中心に学ぶつもりです。そのためにお金を貯めて、TOEIC の勉強をしています。この留学はわたしにとって大きな目標を与えてくれました。

もし、このプログラムに興味があるならば、是非チャレンジしてください。きっかけは何でもいいです。その「少しの無理」が自分を大きく変えてくれるかもしれません。